



CHAPTER 1

システム メッセージの概要

このマニュアルでは、スイッチ システム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼動中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのログイン サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を示すわけではありません。通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。



(注)

このスイッチに固有ではない Cisco IOS システム メッセージの詳細については、www.cisco.com で *Cisco IOS Release 12.2* に対応する『*Cisco IOS Software System Messages*』を参照してください。

- 「システム メッセージの読み方」(P.1-1)
- 「エラー メッセージのトレースバック レポート」(P.1-5)

システム メッセージの読み方

システム ログ メッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されます。メッセージは、次のフォーマットで表示されます。

seq no:timestamp: %facility-severity-MNEMONIC:description

システム メッセージ出力はデフォルトで、ログイン プロセスに送信されます。

各システム メッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構成は次のとおりです。

%FACILITY-SEVERITY-MNEMONIC: Message-text

- **FACILITY** は、メッセージが参照するファシリティを示す 2 文字以上の大文字です。ファシリティは、ハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェアのモジュールなどです。
表 1-1 に、スイッチのファシリティ コードを示します。

第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティ コードのアルファベット順、重大度の高い（数字が小さい）エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティ コード

ファシリティ コード	説明	参照先
ACLMGR	ACL マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (P.2-3)
AUTHMGR	認証マネージャ	「AUTHMGR メッセージ」 (P.2-7)
BACKUP_INTERFACE	Flex Link	「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (P.2-9)
BSPATCH	ブート ロoader パッチ	「BSPATCH メッセージ」 (P.2-9)
CMP	Cluster Membership Protocol	「CMP メッセージ」 (P.2-10)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (P.2-11)
DOT1X	IEEE 802.1x	「DOT1X メッセージ」 (P.2-14)
DOT1X_SWITCH	スイッチ用 IEEE 802.1x	「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (P.2-15)
DTP	ダイナミック トランキン グ プロ トコル	「DTP メッセージ」 (P.2-19)
DWL	Down-When-Looped	「DWL メッセージ」 (P.2-21)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (P.2-21)
EPM	適用ポリシー モジュール	「EPM メッセージ」 (P.2-27)
ETHCNTR	イーサネット コントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (P.2-27)
FRNTEND_CTRLR	フロントエンド コントローラ	「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (P.2-28)
GBIC_SECURITY	ギガビット インターフェイス コ ンバータ (GBIC) モジュール および着脱可能小型フォーム ファクタ (SFP) モジュールの セキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-28)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC および SFP モジュール セ キュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-30)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC および SFP モジュール セ キュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (P.2-30)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (P.2-31)
HLFM	ローカル フォワーディング マ ネージャ	「HLFM メッセージ」 (P.2-33)
HULC_LICENSE	ライセンス	「HULC_LICENSE メッセージ」 (P.2-34)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロック マネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (P.2-34)
IFMGR	インターフェイス マネージャ	「IFMGR メッセージ」 (P.2-37)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
IGMP_QUERIER	インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-37)
ILET	Cisco IOS ライセンスの強制テスト	「ILET メッセージ」 (P.2-38)
IP_DEVICE_TRACKING_HA	ハイ アベイラビリティのための IP デバイス トラッキング	「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-39)
MAC_LIMIT	MAC アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-40)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-40)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (P.2-41)
PIMSN	Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング	「PIMSN メッセージ」 (P.2-43)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム 固有	「PLATFORM メッセージ」 (P.2-43)
PLATFORM_FBM	プラットフォームのフォールバック ブリッジング マネージャ	「PLATFORM_FBM メッセージ」 (P.2-44)
PLATFORM_HPLM	プラットフォームの疑似ラベル マネージャ	「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (P.2-44)
PLATFORM_PBR	プラットフォームのポリシー ベース ルーティング	「PLATFORM_PBR メッセージ」 (P.2-45)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」 (P.2-47)
PLATFORM_SPAN	プラットフォームのスイッチド ポート アナライザ	「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (P.2-48)
PLATFORM_UCAST	プラットフォームのユニキャスト ルーティング	「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (P.2-48)
PLATFORM_VLAN	プラットフォームの VLAN	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (P.2-50)
PLATFORM_WCCP	プラットフォームの WCCP	「PLATFORM_WCCP メッセージ」 (P.2-51)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」 (P.2-52)
PORT_SECURITY	ポート セキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (P.2-59)
QOSMGR	QoS マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (P.2-61)
RMON	リモート ネットワーク モニタリング (RMON)	「RMON メッセージ」 (P.2-66)
SCHED	スケジュール	「SCHED メッセージ」 (P.2-66)
SPAN	スイッチド ポート アナライザ	「SPAN メッセージ」 (P.2-66)
SPANTREE	スパニング ツリー	「SPANTREE メッセージ」 (P.2-67)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」(P.2-75)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」(P.2-75)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」(P.2-75)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC	「SUPERVISOR メッセージ」(P.2-76)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」(P.2-76)
SW_DAI	ダイナミック ARP インспекション	「SW_DAI メッセージ」(P.2-78)
SW_MACAUTH	MAC アドレス認証	「SW_MACAUTH メッセージ」(P.2-80)
SW_MATM	MAC アドレス テーブル マネージャ	「SW_MATM メッセージ」(P.2-81)
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」(P.2-81)
SWITCH_QOS_TB	QoS 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」(P.2-88)
TCAMMGR	Ternary Content Addressable Memory マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」(P.2-88)
UDLD	単方向リンク検出	「UDLD メッセージ」(P.2-90)
VQPCLIENT	VLAN Query Protocol クライアント	「VQPCLIENT メッセージ」(P.2-91)
WCCP	Web Cache Communication Protocol (WCCP)	「WCCP メッセージ」(P.2-92)

- 重大度は 0 ～ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。この値が小さいほど、重大な状況を示します。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 : 緊急	システムは使用不能。
1 : アラート	ただちに対応が必要な状態。
2 : クリティカル	危険な状態。
3 : エラー	エラー状態。
4 : 警告	警告状態。
5 : 通知	正常だが注意を要する状態。
6 : 情報	情報メッセージ。
7 : デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ。

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは、状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリ アドレス スペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージ内の変数フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの変数フィールド

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネット アドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネット アドレス

次に、スイッチ システム メッセージの一部を示します。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channell, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2 *Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
```

エラー メッセージのトレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システム メッセージによっては、エラー メッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンライン ツールからシステム エラー メッセージの詳細を得ることもできます。

アウトプット インタープリタ

アウトプット インタープリタは、**show tech-support** 特権 EXEC コマンドなど、さまざまな CLI コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。

<https://www.cisco.com/pcgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS Release で既知のバグをすべて検索できます。

<http://tools.cisco.com/Support/BugToolKit/>

TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」(P.viii) を参照してください。